本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

カシオ計算機株式会社

MA9603-A

CASIO

P

TWINCEPT

ワールドタイム／50件のテレメモ・スケジュール記憶

1328

取扱説明書

1328

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

◆本機の特長◆

●アナログ＆デジタル時計
アナログ時計の文字板にデジタル表示が浮き上がります。デジタル表示を消して、アナログ時計としても使えます。

●ワールドタイム
世界30都市の時刻がわかります。世界地図が文字板に浮き上がります。

●ELバックライト
暗いところでもボタン１つで表示を明るく照らします。

●テレメモ／スケジュール記憶
最大50件の名前＆電話番号（テレメモ）およびスケジュールを記憶します。

●アラーム・時報報知
任意の時間にアラームを鳴らすことや、毎正時に時報を鳴らすことができます。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
（左の例は感電注意）



⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。
（左の例は分解禁止）



●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となることがあります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。
電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠注意

お手入れについて

本体やバンドは吸湿性のよい柔らかい布でふいて、いつも清潔にしてご使用ください。汚れたままにしておくと、変色や破損、皮膚のかぶれの原因となります。
万一、本機使用により皮膚がかぶれたときは、そのバンドの使用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

ステンレス製のバンドの場合、汚れからサビが発生し、衣服の袖を汚すことがあります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



データ控を作ってください

記憶させた内容は、付属の備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



◆ 目　次 ◆

操作のしくみと表示の見方 ……4
ボタン操作について ……6
ライト点灯について ……6
テレメモの使い方 ……7
スケジュールの使い方 ……10
ワールドタイムの使い方 ……14
アラーム・時報の使い方 ……16
時刻・カレンダーの合わせ方…18

製品仕様 ……20
ご使用上の注意 ……22
お手入れについて ……23
電池交換について ……24

操作のしくみと表示の見方

Ⓓボタンを押すごとにモードが切り替わります。

時刻・カレンダーモード

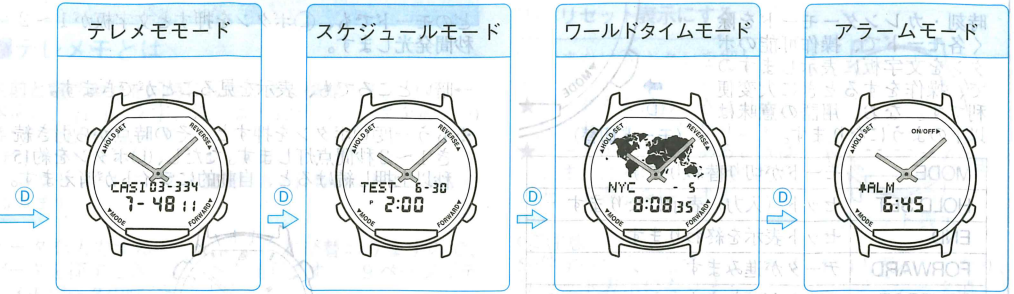
Ⓑボタンを押すごとに表示内容が変わります。
お好きな表示にしてお使い下さい。



曜日の見方

SUN	日
MON	月
TUE	火
WED	水
THU	木
FRI	金
SAT	土

※各モードでボタン操作後、Ⓓボタンを押すと自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。また、各モードのまま、ボタン操作せずに２～３分経過すると自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。



デモ（デモンストレーション）機能について

本機は工場出荷時に「デモ機能（＝本機の機能の一部を自動的に表示するもの）」に設定されています。

●「デモ機能」の解除
「デモ機能」の表示となっているときは、Ⓓボタン（左下）を、（表示が止まり確認音が鳴るまで）２～３秒間押し続けます。

●「デモ機能」の設定
解除時と同様にⒹボタン（左下）を、（確認音が鳴るまで）２～３秒間押し続けます。

■ボタン操作について

（キーガイダンス機能）

時刻・カレンダーモードを除く各モードで、操作可能のボタンを文字板に表示しますので、操作をするときに大変便利です。なお、用語の意味は以下のようになります。



Ⓓ
（モード切替）

MODE	モードが切り替わります
HOLD SET	セット（入力）表示になります
END	セット表示を終わります
FORWARD	データが進みます
REVERSE	データが戻ります
SET（＋）	文字（数字）が進みます
SET（－）	文字（数字）が戻ります
CLEAR	データが消されます
SELECT	データの入力桁を選べます
ON/OFF	アラーム・時報のON/OFFを選べます

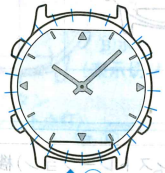
■ライト点灯について

（暗い場所で表示を見るには）

どのモードでも、Ⓛボタンを押すと文字板が１～２秒間発光します。

→暗いところでも、表示を見ることができます。

※もう一度Ⓛボタンを押すと、その時点から引き続き１～２秒間点灯します。ただし、Ⓛボタンを約15秒以上押し続けると、自動的にライトが消えます。



Ⓛ

〈注意事項〉

- ●直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- ●発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。
- ●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のためにELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

テレメモの使い方

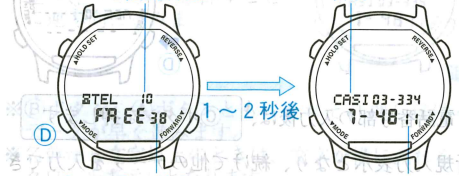
■テレメモとは

名前と電話番号を同時に記憶できる機能です。
本機は、名前８文字、電話番号12桁のデータを最大50件*まで記憶できます。

*データ件数はスケジュールと共用ですので、別にスケジュールをセットしていると記憶できる件数はこれより少なくなります。

データを入力すると、名前順に並び替わりますので、データを探すときもたいへん便利です。（９ページ「テレメモデータの呼び出し」参照）

時刻・カレンダーモードのとき、Ⓓボタンを１回押すと、テレメモモードになります。

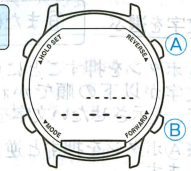


■データを入力する

１件あたり、名前はアルファベットまたは数字で８文字、電話番号の数字は12桁まで入力できます。

(1)　リセット表示にする

ⒷまたはⒶボタンを押します



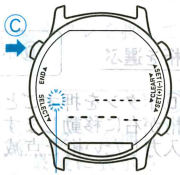
〈リセット表示〉

★データ未入力のときは自動的にリセット表示になります。
★データが入力してあるときはⒷまたはⒶボタンを押してリセット表示を探します。

〈ご注意〉
50件すべて入力してあるときは「FULL表示」となり、リセット表示になりません。９ページ「データ消去」を参照して不要なデータを消しておいてください。

(2)　データ入力をはじめる

Ⓒボタンを１～２秒間押します



→名前部１桁目が点滅します。

名前部１桁目

※点滅表示のまま２～３分すると自動的に点滅が止まります。

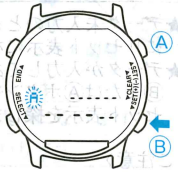
(3) 名前部の入力（最大 8 文字まで）

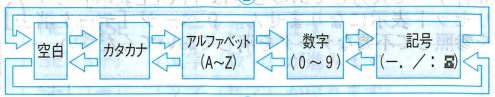
名前部が点滅しているとき、以下の操作を繰り返して入力します。

文字を選ぶ　Ⓑまたは Ⓐボタンを押します

Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の文字が以下の順でかわりますので、表示させたい文字を選びます。

※Ⓐボタンを押すと逆方向に進みます。





桁を選ぶ　Ⓓボタンを押します

Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の桁が右に移動しますので、文字を入力したい桁を点滅させます。

→名前部の入力が終わりましたら、Ⓓボタンを押して点滅桁を電話番号に移動させます。



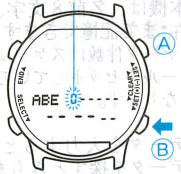
(4) 電話番号部の入力（最大12桁まで）

電話番号部が点滅しているとき、以下の操作を繰り返して入力します。

数字を選ぶ　Ⓑまたは Ⓐボタンを押します

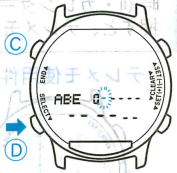
Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所に数字が表示されますので、表示させたい数字を選びます。

※Ⓐボタンを押すと逆方向に進みます。



桁を選ぶ　Ⓓボタンを押します

Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の桁が右に移動しますので、数字を入力したい桁を点滅させます。



(5) 電話番号部の入力後は、Ⓒボタンを押します

→新規入力表示となり、続けて他のデータを入力できます。

(6) セットが終わりましたら、

Ⓒボタンを押します

→テレメモモードに戻ります。

※セット後、Ⓒボタンを押すと自動的に名前の先頭から比較し、「空白→カタカナ→アルファベット→数字→記号（−.／：）」の順で並び変わります。

■テレメモデータの呼び出し

テレメモモードのとき、

ⒷまたはⒶボタンを押します

→Ⓑボタンを押すごとに、セット後に並び変えられた順番に進み、Ⓐボタンを押すごとに逆方向に進みます。



※Ⓑボタン、Ⓐボタンともにそれぞれ押し続けるとデータが早く進みます。

※名前が 5 文字以上のときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。

■データの修正／消去

1. ⒷまたはⒶボタンを押して修正／消去したいデータを選びます。
2. Ⓒボタンを 1 ～ 2 秒間押して、入力表示にします。

●データ修正→Ⓓボタンで修正したい箇所に点滅を移動させ、Ⓑ・Ⓐボタンで正しい文字・数字を表示させます。

●データ消去→Ⓐ・Ⓑボタンを同時に押します。確認音が鳴り、データが消去されます。

※データ消去後引き続きデータ入力ができます。

※点滅表示のまま、2 ～ 3 分すると、自動的に点滅が止まり、テレメモモードに戻ります。

3. 修正／消去が終わりましたら、Ⓒボタンを押して点滅を止めます。

■テレメモー時表示

時刻・カレンダーモードのとき、Ⓐボタンを押している間、前回テレメモモードで最後に表示させた内容を表示します。

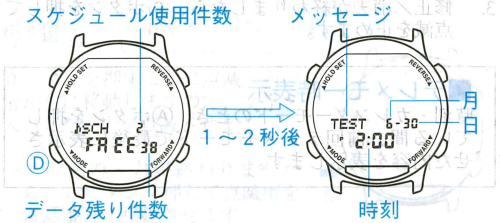
スケジュールの使い方

■スケジュール機能とは

指定した「月日／時刻」になると、電子音が20秒間鳴り、スケジュールを知らせる機能です。
本機は、「月日／時刻」とメッセージ（アイコン＋アルファベット）のデータを最大50件*まで記憶できます。
*データ件数はテレメモと共用ですので、別にテレメモを入力していると記憶できる件数はこれより少なくなります。

データを入力すると、現在に一番近い順に並び替わりますので、データを探すときもたいへん便利です。（12ページ「スケジュールデータの呼び出し」参照）

時刻・カレンダーモードのとき、Ⓓボタンを２回押すと、スケジュールモードになります。



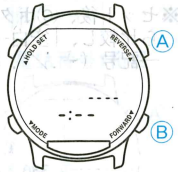
■データをセットする

１件あたり、月日／時刻および11文字までのメッセージが入力できます。

(1) リセット表示にする

ⒷまたはⒶボタンを押します

★データ未入力のときは自動的にリセット表示になります。
★データが入力してあるときはⒷまたはⒶボタンを押してリセット表示を探します。



〈リセット表示〉

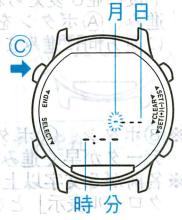
〈ご注意〉
50件すべてセットしているときは「FULL表示」となり、リセット表示になりません。13ページ「データ消去」を参照して不要なデータを消しておいてください。

(2) データ入力をはじめる

Ⓒボタンを１～２秒間押します

→月が点滅します。

※点滅表示のまま２～３分すると自動的に点滅が止まります。



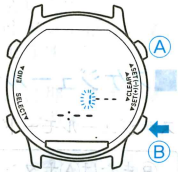
(3) 月・日・時刻の入力

月・日・時刻のいずれかが点滅しているとき、以下の操作を繰り返して入力します。

数字を選ぶ　ⒷまたはⒶボタンを押します

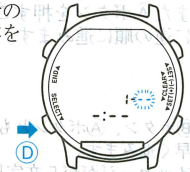
Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所に数字が表示されますので、表示させたい数字を選びます。

※Ⓐボタンを押すと逆方向に進みます。



桁を選ぶ　Ⓓボタンを押します

Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の桁が右に移動しますので、数字を入力したい桁を点滅させます。



→「分」の入力後、Ⓓボタンを押して、メッセージ部を点滅させます。

〈ご注意〉

- スケジュールをセットできるのは、現在日から１年間です。（今日が12月12日のとき、翌年の12月11日までセットできます。）
- 「月・日」は必ず入力してください。「月」だけ、または「日」だけ入力しても、スケジュールとして記憶されません。
- 「時刻」を指定したいときは、必ず「時・分」とも入力してください。どちらかを“－－”のままにすると、「時刻指定のないスケジュール」として記憶します。
- 「時」のセットのとき、午前／午後（P）にご注意ください。現在時刻が24時間制の時はスケジュールの時刻も24時間制となります。

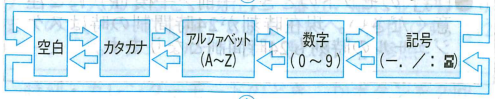
(4) メッセージの入力

メッセージ部が点滅しているとき、以下の操作を繰り返して入力します。

文字を選ぶ　Ⓑまたは Ⓐボタンを押します

Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の文字が以下の順でかわりますので、表示させたい文字を選びます。
※Ⓐボタンを押すと逆方向に進みます。





桁を選ぶ　Ⓓボタンを押します

Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の桁が右に移動しますので、文字を入力したい桁を点滅させます。

→メッセージ部の入力後Ⓒボタンを押すと、続けて他のデータ入力ができます。



(5) 入力が終わりましたら、

Ⓒボタンを押します

→データが現在に一番近い順に並び替わり、スケジュールモードに戻ります。

■スケジュールデータの呼び出し

スケジュールモードのとき、

Ⓑまたは Ⓐボタンを押します

→Ⓑボタンを押すごとにスケジュールが日付順に、またⒶボタンを押すごとに逆の順に進みます。



※Ⓑボタン、Ⓐボタンともにそれぞれ押し続けるとデータが早く進みます。
※メッセージがが５文字以上のときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。

■データの修正／消去

1. ⒷまたはⒶボタンを押して修正／消去したいデータを選びます。
2. Ⓒボタンを１～２秒間押して入力表示にします。

●データ修正→Ⓓボタンで修正したい箇所に点滅を移動させ、Ⓑ・Ⓐボタンで正しい文字・数字を表示させます。

●データ消去→Ⓐ・Ⓑボタンを同時に押します。確認音が鳴り、データが消去されます。

※データ消去後引き続きデータセットができます。
※入力表示のまま、２～３分すると、自動的に点滅が止まり、スケジュールモードに戻ります。

3. 修正／消去が終わりましたら、Ⓒボタンを押して点滅を止めます。

■スケジュール報知方法

●毎正時予告（時刻・カレンダーモード）

毎正時（00分）になると、当日のスケジュールのうち、現在に一番近い次のスケジュールを20秒間表示します。



※“時報ON”にしているときは約１秒間報音します。
※いずれかのボタンを押すともとの表示に戻ります。
※時刻・カレンダーモード以外では毎正時予告は行ないません。

●指定した時刻になると

指定した時刻になると20秒間電子音が鳴り、セット日時であることを知らせます。なお、時刻・カレンダーモードでは、報音と同時に20秒間スケジュールを表示します。



※いずれかのボタンを押すと電子音が止まります。
※時刻・カレンダーモードでは、音止め後もう一度ボタンを押すともとの表示に戻ります。

ワールドタイムの使い方

■ワールドタイムとは

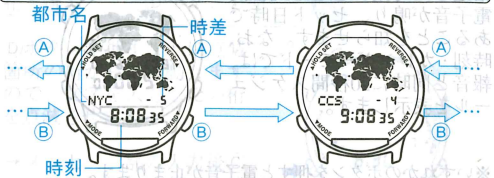
世界30都市の時刻を知ることができる機能です。
また、都市ごとにサマータイムを設定できます。

ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示し、世界地図が順番に点灯します。
※世界地図がすべて点灯すると、そのとき表示している都市と同じ時差のエリアが点滅します。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、

Ⓐまたは Ⓑボタンを押すごとに都市名が呼び出されます



※ⒶⒷボタンをそれぞれ押し続けると都市名が早く進みます。

■ワールドタイム都市コード一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市・地域
― ― ―	―――	-11	パゴパゴ
HNL	ホノルル	-10	パピート
ANC	アンカレッジ	-9	ノーム
LAX	ロサンゼルス	-8	サンフランシスコ、シアトル、ラスベガス
DEN	デンバー	-7	エルパソ、エドモントン
CHI	シカゴ	-6	ダラス、メキシコシティー、ヒューストン
NYC	ニューヨーク	-5	マイアミ、ボストン、モントリオール
CCS	カラカス	-4	サンチアゴ
RIO	リオデジャネイロ	-3	サンパウロ、ブエノスアイレス
― ― ―	―――	-2	
― ― ―	―――	-1	アゾレス諸島
GMT	―――	±0	〈グリニッジ標準時〉
LON	ロンドン	±0	ダブリン
PAR	パリ	+1	ローマ、リスボン、マドリッド、フランクフルト
CAI JRS	カイロ イエルサレム	+2	アテネ、ヘルシンキ、 ベイルート、ケープタウン
JED	ジェッダ	+3	クウェート、ナイロビ
THR	テヘラン	+3.5	シラーズ
DXB	ドバイ	+4	アブダビ
KBL	カブール	+4.5	
KHI	カラチ	+5	
DEL	ニューデリー	+5.5	ボンベイ、カルカッタ、コロンボ
DAC	ダッカ	+6	
RGN	ヤンゴン	+6.5	
BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
HKG	香港	+8	北京、台北、シンガポール、マニラ、クアラルンプール
TYO	東京	+9	ソウル、平壌
ADL	アデレード	+9.5	ダーウィン
SYD	シドニー	+10	グアム島
NOU	ヌメア	+11	ポートヴィラ
WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

※この表は1994年11月現在作成のものです。
※時差はグリニッジ標準時（世界協定時：UTC）を基準としたものです。

■ワールドタイム「時刻」修正のしかた

30都市のうち、いずれか1都市の時刻を合わせると自動的に他の都市の時刻も修正されます。

(1) ⒶまたはⒷボタンを押して、時刻を合わせたい都市を選びます。



(2)

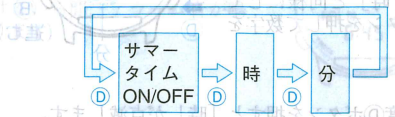
Ⓒボタンを1～2秒間押します

→サマータイムON/OFF切替表示となります。



（サマータイムOFFのとき）

このとき、Ⓓボタンを押すごとに表示が以下のように切り替わります。点滅箇所がセット可能ですので、セットしたい箇所を選びます。



※点滅表示のまま1～2分すると自動的に点滅が止まります。

(2) ワールドタイム修正

ⒶまたはⒷボタンを押します

★サマータイムON/OFF
Ⓑボタンを押すごとにサマータイムON/OFFが切り替わります。



（サマータイムON）

★時刻セット表示
（時または分が点滅）
Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓐボタンを押すごとに数字が戻ります。
※Ⓑ・Ⓐボタンとも押し続けると早く進みます。



(3) セットが終わりましたら、

Ⓒボタンを押します

→点滅が止まり、ワールドタイムモードに戻ります。

〈ご注意〉
サマータイムは、設定を行なった都市のみ有効となります。あらかじめサマータイム*を設定したい都市を選んでから操作を行なってください。
*サマータイム…DST（Daylight Saving Time）といい、通常の時刻から1時間進める制度のこと。

アラーム・時報の使い方

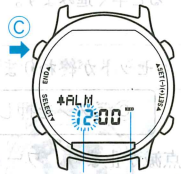
アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

■アラーム時刻のセット

準備：Ⓓボタンを4回押してアラームモードにします。

(1) Ⓒボタンを1～2秒間押します

→「時」が点滅します。
※このときアラームマーク（))))）が点灯します。



(2) ⒷまたはⒶボタンを押します



→Ⓑボタンを押すと「時」が進み、Ⓐボタンを押すと戻りますので、セットしたい時刻を表示させます。
※それぞれ押し続けると早く進みます。

★「時」のセットのとき午前／午後（P）にご注意ください。
★基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

(3) Ⓓボタンを押します



→「分」が点滅します。

「分」も「時」と同様にしてⒷ・Ⓐボタンを押して数字を選びます。

※もう一度Ⓓボタンを押すと「時」が点滅します。

(4) セットが終わりましたら、

Ⓒボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

■鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ・Ⓓ・Ⓛボタンのいずれか1つを押すと、音が止まります。

■モニターアラーム

アラームモードのときにⒷボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

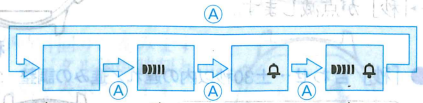


■アラーム・時報のON/OFFの設定

準備：Ⓓボタンを押してアラームモードにします。

Ⓐボタンを押すごとに、以下の順でマークが点灯／不点灯します。
それぞれのマークが点灯しているときが“ON”となり、アラーム・時報が鳴ります。





アラーム	鳴らない	鳴る	鳴らない	鳴る
時報	鳴らない	鳴らない	鳴る	鳴る

※アラーム時刻のセットを行なうと、自動的にアラーム“ON”に設定されます。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻・カレンダーが合っていない時は、以下の手順で合わせてください。

■デジタル部時刻の合わせ方

(1) 時刻・カレンダーモードのとき、

Ⓒボタンを1～2秒間押します



→「秒」が点滅します。

●「秒」合わせ…±30秒以内の遅れ／進みの調整

時報に合わせて、Ⓑボタンを押します



→「00」秒からスタートします。

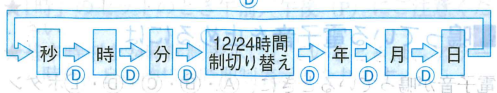
秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くりあがって「00」秒になります。
(時報は「時報サービス電話117番」が便利です)

●「時刻・カレンダー」合わせ

a. Ⓓボタンを押します



→点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、Ⓓボタンを押してセットしたい箇所を選びます。



b. ⒷまたはⒶボタンを押します



→Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓐボタンを押すごとに数字が戻ります。

※Ⓑ・Ⓐボタンとも押し続けると早く進みます。

上記a、bの操作を繰り返して「時刻・カレンダー」を合わせます。

★「時」のセットのとき午前／午後（P）または24時間制にご注意ください。

★「12／24時間制切り替え」のときは、Ⓑボタンを押すごとに「12H」↔「24H」と切り替わります。
なお、アラーム時刻、ワールドタイムの時刻もここで選んだ時制で表示されます。

★カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は直す必要はありません。

(2) セットが終わりましたら、

Ⓒボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

■アナログ（針）部の合わせ方

電池交換後など、アナログ時刻が合っていないときは、以下の手順でアナログ時刻を合わせてください。

準備：Ⓓボタンを押して針合わせモードにします。

(1) Ⓒボタンを約1秒間押します

→「SET」が点滅します。



(2) Ⓑボタンを押します



→分針が時計回りに進みますので、デジタル部の時刻と同じ時刻を表示させます。

※押し続けると早く進みます。(針は逆方向には進みません)

(3) セットが終わりましたら、Ⓒボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

常温携帯精度：平均月差±20秒以内

基本機能：時刻表示
アナログ部　時・分（2針）
デジタル部　時・分・秒、午前／午後(P)／24時間制表示
カレンダー表示
月・日・曜日、フルオートカレンダー（1995～2039年）

テレメモ機能：名前（8文字）と電話番号（12桁）を最大50件までメモリー、
自動ソート機能、メモリー使用件数／残り件数表示

スケジュール機能：1年間のスケジュールをメモリー
内容＝メッセージ（11文字）、
月・日・時・分
自動ソート機能、メモリー使用件数／残り件数表示

ワールドタイム機能：世界30都市の時刻を表示
世界地図表示
サマータイム設定機能付き

アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分
電子音＝20秒間
時報　毎正時に2回電子音で報時

その他：自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、モニターアラーム、デモ機能、ELバックライト

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI

使用電池：SR-927W×2個（電池別途販売）
※電池はカシオ指定のものをご使用ください。

電池寿命：約2年
（カレンダー表示にしている状態で、1日あたりELバックライト2秒間、電子音を20秒間使用した場合）

MEMO

ご使用上の注意

■防　水　性

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的（２～３年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バ　ン　ド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

■温　　度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショ　ッ　ク

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。

■磁　　気

●家庭用電気製品（テレビなど）程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時的に遅れ・進みが生じることがあります。

■薬　品　類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保　　管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約７年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータは付属の備忘録やノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

●「サビ」
・ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
・表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
・樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
・皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
・万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消　　耗

●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電 池 交 換

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。

●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

ELパネル（表示照明部）の交換について
表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。